

スポーツ障害を防ぐ

ケガを予想することはできるの？

大事な試合と体の違和感、どっちが大事？

何をすればケガは少なくできるの？

【講師紹介】

近 良明



こん整形外科クリニック 院長

現場に根ざしたスポーツ医学を追究。医師としてスポーツアスリートの総合的なサポートを実現している。ケガの予見を使命の一つに掲げる。メデイカルフィットネスの第一人者。

鈴木 岳



株式会社 R-body project 代表取締役

全米公認アスレティックトレーナー、博士(スポーツ医学)。ソルトレイク・バンクーバーオリンピックピックの上村愛子選手らの活躍を支える。日本オリンピック委員会(IOC)・全日本スキー連盟などの委員を歴任。教育講演も多数。



イラスト：D&M社提供

第1回スポーツ医科学コアセンターセミナー

『日時』2012年2月25日(土) 16:00-18:30

『場所』仙台市青葉体育館 第2・3会議室

青葉区堤町一丁目1番5号 TEL 022-717-1191 駐車場有・満車御免

※申込方法 shougainashi@yahoo.co.jpに「氏名」「御所属」と「参加希望」とをお書きになりメールをお送り下さい。先着100名様まで。

スポーツ障害が予防できれば多くのアスリートが救われます。ただいつケガをするかは誰にも分かりません。しかし最近の整形外科学、理学療法学の研鑽で障害を予測する方法がしだいに明らかになっています。そして障害を防ぐコンディショニング方法も飛躍的に開発されています。このセミナーではスポーツ障害の予見と予防法を日本を代表する医師およびトレーナーにより紹介・実演します。

東北大学大学院医学系研究科附属
創生応用医学研究センター

【主催】スポーツ医科学コアセンター
【責任者】教授 永富良一

お問い合わせ
藤本敏彦
TEL 022-795-7769
Email. tfujimoto@m.tohoku.ac.jp

元気・前向き
Powerful Positive Tohoku University
東北大学

